

第8期柏市高齢者いきいきプラン2.1の実績について（令和3年度 取り組み編） ー全体版ー

【第8期柏市高齢者いきいきプラン2.1 指標一覧】

番号	章	節	基本理念						2021年度	2022年度	2023年度	指標の出典	担当課		
			政策目標												
			重点施策												
主な取り組み名		事業名		指標の項目		単位	基準値	指標	指標	指標					
1	—	—	すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち 柏						%	47.2	増加	健康とくらしの調査	高齢者支援課 (計画調整)		
2	—	—	【アウトカム】 幸福感がある人の割合(要介護認定を受けていないかた)						%	37.5	増加	柏市介護保険利用者アンケート	高齢者支援課 (計画調整)		
3	1	—	健康寿命を延ばし いきいきと暮らせる						歳	80.7	上昇	介護保険システムを集計	高齢者支援課 (計画調整)		
4	1	1	フレイル予防・健康づくりの推進						人	2,000	4,000	6,000	8,000	事業の実績を集計	地域包括支援課
5	1	1	フレイル予防プロジェクト2025の推進	フレイル予防プロジェクト2025の推進委員会	フレイルを知っている人(浸透度)の割合	%	40.8	—	70	—	健康とくらしの調査	福祉政策課			
6	1	1	かしわフレイル予防ポイント制度	かしわフレイル予防ポイント	フレイル予防カードを利用してフレイル予防に取り組む市民の数(再掲)	人	2,000	4,000	6,000	8,000	事業の実績を集計	地域包括支援課			
7	1	1	フレイルチェックの普及・啓発	フレイルチェック講座の参加者数	フレイルチェック講座の参加者数	人	1,050	1,100	1,200	1,300	事業の実績を集計	地域包括支援課			
8	1	1	フレイルチェックを通じたフレイル予防の推進	フレイル予防サポーターの育成・支援	フレイル予防サポーターの活動回数(啓発活動や研修を含む)	回	61	70	85	100	事業の実績を集計	地域包括支援課			
9	1	1		住民主体のフレイル予防活動への支援	フレイル予防・健康づくり出前講座の実施回数	回	105	125	150	210	事業の実績を集計	地域包括支援課			
10	1	1		各種データ分析・地区診断	各種データ分析・地区診断の実施	—	—	実施	実施	実施	—	地域包括支援課			
11	1	1	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	生活習慣病の予防及び重症化予防	特定健康診査受診率の向上	%	42.3	47.0	47.5	48.0	事業の実績を集計	保険年金課			
12	1	1		医療専門職によるフレイル予防のための相談、支援	医療専門職によるフレイル予防のための相談、支援の実施	—	—	実施	実施	実施	—	地域包括支援課			
13	1	2	多様な社会参加の促進						%	68.9	—	70	—	健康とくらしの調査	地域包括支援課
14	1	2	【アウトカム】 友人・知人と会う頻度が高い(月に1回以上)人の割合						%	35.3	—	—	—	健康とくらしの調査	地域包括支援課
15	1	2	高齢者就労・社会参加の拡充	生涯現役促進協議会の運営	生涯現役促進協議会による求人開拓件数	件	260	200	200	200	事業の実績を集計	福祉政策課			
16	1	2			生涯現役促進協議会実施事業(セミナー、窓口)利用者満足度	%	90	90	90	90	事業の実績を集計	福祉政策課			
17	1	2	地域でのボランティア活動の推進	地域でのボランティア活動の推進	月に1回以上ボランティアに参加する割合	%	13.3	—	14	—	健康とくらしの調査	柏市社会福祉協議会			
18	1	2			ボランティアセンターへのボランティアの登録者数	人	3,842	3,950	3,990	4,030	事業の実績を集計	柏市社会福祉協議会			
19	1	2		地域いきいきセンター運営・整備事業	地域いきいきセンターの設置か所数	か所	7	8	9	10	事業の実績を集計	柏市社会福祉協議会			
20	1	2		通いの場等の運営支援	通いの場の数	か所	26	36	41	46	事業の実績を集計	地域包括支援課			
21	1	2	多様な居場所の創出	老人福祉センターの管理運営	利用人数	人	109,000	109,000	109,000	100,000	事業の実績を集計	高齢者支援課 (いきがい)			
22	1	2		高齢者団体への支援	団体数	団体	91	90	90	90	事業の実績を集計	高齢者支援課 (いきがい)			
23	2	—	助げが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる						%	63.2	増加	日常生活圏データ	高齢者支援課 (計画調整)		
24	2	—	【アウトカム】 軽度者(要支援1から要介護1)の要介護度の維持・改善率						%	61.9	増加	給付適正化システム	高齢者支援課 (計画調整)		
25	2	1	地域での支えあい体制の推進						%	69.3	—	75	—	柏市まちづくり推進のための調査	地域包括支援課
26	2	1	生活支援体制の充実	支えあい会議の効果的な実施	支えあい会議への参加者数(延べ件数)	人	760	600~1,000	600~1,000	600~1,000	事業の実績を集計	地域包括支援課			
27	2	1		たすけあいサービス団体の支援	たすけあい活動団体数	か所	67	68	71	74	事業の実績を集計	地域包括支援課			
28	2	1	多様な居場所への参加促進	通いの場等の運営支援	通いの場の数(再掲)	か所	26	36	41	46	事業の実績を集計	地域包括支援課			
29	2	1		フレイル予防ポイント制度を活用した地域との連携	フレイル予防ポイント対象事業数の増加	か所	120	140	160	180	事業の実績を集計	地域包括支援課			
30	2	1	見守り体制の充実	柏市防災福祉K-Netの支援体制の構築	K-Net名簿の提供率	%	93.4	100	100	100	事業の実績を集計	福祉政策課			
31	2	1			支援体制の構築	%	67.8	100	100	100	事業の実績を集計	福祉政策課			
32	2	1		見守りネットワーク事業	協定締結事業者数	事業者	17	21	22	23	事業の実績を集計	福祉政策課			
33	2	1	相談機関の整備	福祉総合相談窓口(断らない総合相談窓口)の設置	福祉総合相談窓口の実施	—	—	実施	実施	実施	—	福祉政策課			
34	2	1		地域いきいきセンター運営・整備事業(再掲)	地域いきいきセンターの設置か所数(再掲)	か所	7	8	9	10	事業の実績を集計	柏市社会福祉協議会			
35	2	2	多様な生活支援ニーズに対する支援						%	30.8	43	45	47	柏市まちづくり推進のための調査	地域包括支援課
36	2	2	多様な生活支援サービスの把握と情報の発信	サービス利用状況や事業者情報の把握と発信	サービス利用件数(延べ)	件	32,335	36,006	37,736	39,626	事業の実績を集計	地域包括支援課			
37	2	2	介護支援専門員による効果的なケアマネジメントへの支援	地区別研修会・介護予防ケアマネジメント研修会・主任介護支援専門員研修会の実施	地区別研修会の参加者アンケート「理解した」割合	%	—	80	80	80	事業の実績を集計	地域包括支援課			
38	2	2			介護予防ケアマネジメント研修会の実施	回	1	1	1	1	事業の実績を集計	地域包括支援課			
39	2	2			主任介護支援専門員研修会の実施	回	1	1	1	1	事業の実績を集計	地域包括支援課			
40	2	2		柏市介護支援専門員協議会への支援	自立支援及び重度化防止のための啓発	回	1	1	1	1	事業の実績を集計	地域包括支援課			
41	2	3	認知症施策の推進						%	47.1	—	50	—	健康とくらしの調査	地域包括支援課
42	2	3	認知症の正しい知識と理解の普及・啓発	認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	人	29,972	33,000	36,000	39,000	事業の実績を集計	地域包括支援課			
43	2	3		かしわ認知症対応ガイドブックの活用による普及啓発	かしわ認知症対応ガイドブック配布数(累計)	部	15,026	17,500	20,000	22,500	事業の実績を集計	地域包括支援課			
44	2	3	予防(認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにする)	生活習慣病の予防や社会参加の促進に関連する取り組み	通いの場の数(再掲)	か所	26	36	41	46	事業の実績を集計	地域包括支援課			
45	2	3		認知症初期集中支援チームによる支援	認知症初期集中支援チーム数	か所	1	1	1	1	事業の実績を集計	地域包括支援課			
46	2	3	医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	認知症カフェの開催・支援	認知症カフェ参加者満足度	%	77.8	78	78	78	事業の実績を集計	地域包括支援課			
47	2	3		認知症相談支援体制の充実	認知症相談件数(延べ)	件	1,199	1,230	1,260	1,290	事業の実績を集計	地域包括支援課			
48	2	3	認知症バリアフリーの推進	かしわオレンジSOSネットワーク事業	かしわオレンジSOSネットワーク協力事業所数(累計)	事業所	70	90	100	110	事業の実績を集計	地域包括支援課			

番号	章	節	基本理念					2021年度	2022年度	2023年度	指標の典拠	担当課			
			政策目標												
			重点施策												
主な取り組み名	事業名	指標の項目	単位	基準値	指標	指標	指標								
49	3	—	介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる					【アウトカム】生活に満足していると答えたかたの割合	%	35.5	増加	東大調査	高齢者支援課(計画調整)		
50	3	—						【アウトカム】要介護3以上のかたの在宅率	%	49.6	増加	日常生活圏データ	高齢者支援課(計画調整)		
51	3	1	介護サービス等の基盤整備					【アウトカム】家族が就労を続けられる割合	%	85.1	—	87	—	在宅介護実態調査	高齢者支援課(計画調整)
52	3	1	施設・居住系介護サービスの公募による整備	介護サービスの整備	介護老人福祉施設の総定員数(施設数)	総定員数(か所)	1,515(24)	1,628(25)	1,628(25)	1,828(27)	事業の実績を集計	高齢者支援課(施設)			
53	3	1			介護老人保健施設の総定員数(施設数)	総定員数(か所)	920(9)	920(9)	920(9)	920(9)	事業の実績を集計				
54	3	1			介護医療院の総定員数(施設数)	総定員数(か所)	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	事業の実績を集計				
55	3	1			特定施設入居者生活介護の総定員数(施設数)	総定員数(か所)	1,000(10)	1,000(10)	1,000(10)	1,100(11)	事業の実績を集計				
56	3	1			認知症対応型共同生活介護の総定員数(事業所数)	総定員数(か所)	423(27)	459(29)	459(29)	495~513(31)	事業の実績を集計				
57	3	1			在宅での暮らしを支えるサービスの整備	小規模多機能型居宅介護の事業所数	か所	9	9	9	10		事業の実績を集計	高齢者支援課(施設)	
58	3	1	看護小規模多機能型居宅介護の事業所数	か所	1	1	1	3	事業の実績を集計						
59	3	1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数	か所	4	6	6	8	事業の実績を集計						
60	3	1	在宅福祉サービスの実施	事業の周知	登録者数	回	3	5	6	7	事業の実績を集計	高齢者支援課(サービス)			
61	3	1			登録者数	人	2,008	2,030	2,060	2,090	事業の実績を集計				
62	3	1	介護人材の確保	介護人材確保対策事業	「柏の〇(わ)」の実施回数	回	実施	実施	実施	実施	事業の実績を集計	高齢者支援課(施設)			
63	3	1			「介護のしごと相談会」の来場者数	人	58	60	70	80	事業の実績を集計				
64	3	1		介護資格取得の受講費用に対する補助	介護職員初任者研修の補助金交付者数	人	14	20	20	20	事業の実績を集計	高齢者支援課(施設)			
65	3	1			介護職員実務者研修の補助金交付者数	人	25	25	30	35	事業の実績を集計				
66	3	1		人手不足でもサービスの質の維持・向上を実現するための介護事業者への支援	補助金等による事業者への支援	—	—	実施	実施	実施	—	高齢者支援課(施設)			
67	3	1		文書負担削減の取り組み	文書負担削減の取り組み	—	—	—	—	実施	—	法人指導課			
68	3	1		介護関係団体への支援	介護関係団体への支援	—	—	実施	実施	実施	—	高齢者支援課(施設・計画調整)			
69	3	2		介護保険制度の持続可能性の確保					【アウトカム】要介護度の維持・改善率(80~84歳)	%	67.7	—	69	—	給付適正化システム
70	3	2	介護保険事業の適正な運営	介護保険事業の適正な運営	柏市ケアマネジメントに関する基本方針	関係者への周知	—	—	実施	実施	実施	—	高齢者支援課(サービス)		
71	3	2			介護給付の適正化の推進	30日以内に要介護(要支援)認定をする割合	%	33	50	51	52	事業の実績を集計	高齢者支援課(認定審査)		
72	3	2			ケアプラン向上プロジェクト(ケアプラン点検)実施回数	回	27	24	24	24	24	事業の実績を集計	高齢者支援課(サービス)		
73	3	2			適正化システムを活用した給付分析	定期点検の実施回数	回	1	2	2	2	事業の実績を集計	高齢者支援課(サービス)		
74	3	2			介護サービス事業所への集団指導の実施	集団指導実施回数	回	1	1	1	1	事業の実績を集計	法人指導課		
75	3	2			介護サービス事業所への個別指導(実地指導)の実施	介護サービス事業所実地指導割合(実地指導件数/事業所数)	%	26.4	17	17	17	事業の実績を集計	法人指導課		
76	3	2			身体拘束の廃止研修の実施	身体的拘束等に係る研修実施回数	回	1	1	1	1	事業の実績を集計	法人指導課		
77	3	2			制度の適切な利用等についての周知啓発	介護保険かんたん手引きの配布数	部数	23,000	23,000	23,000	23,000	事業の実績を集計	高齢者支援課(計画調整)		
78	3	3	在宅医療・介護の連携の推進					【アウトカム】在宅医療を受けている人の生活満足度	%	62.6	—	—	増加	柏市介護保険利用者アンケート	地域医療推進課
79	3	3	在宅医療・介護多職種連携の向上	在宅医療・介護多職種連携の向上	顔の見える関係会議	会議参加により連携しやすくなったと思った医療介護職の割合	%	70	70	75	80	事業の実績を集計	地域医療推進課		
80	3	3			在宅医療推進のための多職種連携研修会	市内の在宅療養支援診療所数	か所	35	35	35	37	事業の実績を集計	地域医療推進課		
81	3	3			他職種とのコミュニケーションが重要だと理解した者	%	—	増	増	増	増	事業の実績を集計	地域医療推進課		
82	3	3			情報共有システム運用・管理	新規に開設した部屋数	件	89	93	98	103	事業の実績を集計	地域医療推進課		
83	3	3	在宅医療提供体制の整備	在宅医療提供体制の整備	訪問看護ステーション基盤強化	訪問看護ステーションに勤務する看護師の常勤換算数	人	5.5	5.5	5.5	5.5	事業の実績を集計	地域医療推進課		
84	3	3			病院と在宅との連携強化研修会	研修会参加後に「在宅医療へのイメージや考え方に変化があった」と回答した病院職員割合	%	70	70	70	70	事業の実績を集計	地域医療推進課		
85	3	3			看取り体制構築に対する支援	看取りを行う施設数	件	17	増加	増加	増加	事業の実績を集計	地域医療推進課		
86	3	3	地域住民への普及啓発	在宅医療啓発事業	通院が困難になった場合に、在宅医療を利用できると知っている市民の割合	%	69.7	71	73	75	事業の実績を集計	地域医療推進課			
87	3	3	地域医療拠点(柏地域医療連携センター)の運営	在宅医療相談	相談を解決した割合	%	98.2	100	100	100	事業の実績を集計	地域医療推進課			
88	4	—	意思が尊重され自立して暮らせる					【アウトカム】住んでいる地域に愛着があると答えた人の割合	%	79.0	—	増加	健康とくらしの調査	高齢者支援課(計画調整)	
89	4	1	地域包括支援センターの機能強化					【アウトカム】地域包括支援センターの相談や問い合わせへの対応満足度	%	77.3	78	79	80	地域包括支援センター利用者・関係機関アンケート調査	地域包括支援課
90	4	1	総合相談支援機能の充実	介護予防・生活支援サービス事業(介護予防ケアマネジメント)	要支援者等のケアプランへ多様な社会資源の活用を位置づけている割合	%	21.3	24	27	30	事業の実績を集計	地域包括支援課			
91	4	1			総合相談支援業務	相談件数	件	17,614	18,000	18,500	19,000		事業の実績を集計		
92	4	1	地域包括支援センターの活動評価	地域包括支援センター事業評価の実施	事業評価の実施	—	実施	実施	実施	実施	事業の実績を集計	地域包括支援課			
93	4	1	地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センター常勤職員数	人	71	73	75	77	事業の実績を集計	地域包括支援課			
94	4	2	権利擁護の充実					【アウトカム】身近な相談相手や相談場所がある人の割合	%	94.3	—	95	—	健康とくらしの調査	地域包括支援課
95	4	2	高齢者虐待防止の相談支援	(仮称)柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会運営会議の開催	(仮称)柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会の構成団体等	機関・団体	39	39	39	39	事業の実績を集計	地域包括支援課			
96	4	2			地域包括支援センターでの相談・対応	高齢者虐待対応の終結割合	%	50	50	55	55	事業の実績を集計	地域包括支援課		
97	4	2	成年後見制度の普及啓発	成年後見制度に関する相談	高齢者緊急一時保護事業	高齢者緊急一時保護件数	件	17	10	10	10	事業の実績を集計	地域包括支援課		
98	4	2			成年後見に関する相談件数	件	249	270	280	290	事業の実績を集計	地域包括支援課			
99	4	2			市民後見人の育成、活動支援	市民後見人の受任件数	件	7	8	9	10	事業の実績を集計	地域包括支援課		
100	4	2			成年後見制度利用促進のための中核機関の設置	後見人候補者調整会議の取扱件数(高齢者)	件	27	25	30	30	事業の実績を集計	地域包括支援課		
101	4	2	振り込め詐欺や消費者トラブルの未然防止	振り込め詐欺や消費者トラブルの未然防止	防犯講習会実施回数	回	44	50	50	50	事業の実績を集計	防災安全課			
102	4	2			60歳以上の高齢者からの消費生活相談件数	件	1,450	1,450	1,450	1,450	事業の実績を集計	消費者生活センター			
103	4	3	多様な主体との地域づくりの推進					【アウトカム】住んでいる地域に愛着があると答えた人の割合(再掲)	%	79	—	80	—	健康とくらしの調査	高齢者支援課(計画調整)
104	4	3	超高齢社会のまちづくりモデル	産官学で取り組む先進的なまちづくり								福祉政策課			
105	4	3	関係団体等との連携体制の整備	生活支援体制を整備するための、多様な組織との連携	支えあい会議の開催数	回	34	20~40	20~40	20~40	事業の実績を集計	地域包括支援課			
106	4	3			地域共生社会の実現	地域いきいきセンターの設置か所数(再掲)	か所	6	8	9	10	事業の実績を集計	柏市社会福祉協議会福祉政策課		
107	4	3	都市・交通政策部門との連携	住まいの確保や住まいの選択を支援する体制整備	高齢者人口に対する高齢者向け住宅等の供給割合	%	3.27	3	3	3	事業の実績を集計	住宅政策課			
108	4	3			高齢者の外出や社会参加を促進するためのまちづくり	ノンステップバスの導入率	%	87.1	90	90	90	事業の実績を集計	交通政策課		

【政策目標】 健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる

【重点施策】 フレイル予防・健康づくりの推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
フレイル予防・健康づくりの推進	【アウトカム】フレイル予防カードを利用してフレイル予防に取り組む市民の数	2,000 人	4,000	17,514	6,000	8,000

【主な取り組み】 フレイル予防プロジェクト2025の推進

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
フレイル予防プロジェクト2025の推進委員会	フレイルを知っている人(浸透度)の割合	41 %	—	—	70	—	今年度は、推進委員会を2回開催した。委員会の提言を受け、民間事業者との連携やフレイル予防の動画作成など実施し、市民に対し、フレイル予防の周知・啓発に取り組んでいる。来年度はフレイル予防に積極的に取り組んでいる活動団体・グループに対する認定制度などを設けるなど、さらなるフレイルの浸透度を高める取り組みを行っていく。	○	有

【主な取り組み】 かしわフレイル予防ポイント制度

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
かしわフレイル予防ポイント	フレイル予防カードを利用してフレイル予防に取り組む市民の数(再掲)	2,000 人	4,000	17,514	6,000	8,000	7月から近隣センターでのカード発行を開始、活動団体から希望があれば活動場所向いて発行する「出張発行」に取り組んだ。また、2・3月に実施した「新型コロナワクチン集団接種促進キャンペーン」において、かしわフレイル予防ポイントカードを活用することで新規発行につなげた。次年度も、引き続き周知啓発に努める。	◎	有

【主な取り組み】 フレイルチェックを通じたフレイル予防の推進

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
フレイルチェックの普及・啓発	フレイルチェック講座の参加者数	1,050 人	1,100	632	1,200	1,300	新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、フレイルチェック項目の一部を割愛するなど実施方法を工夫してチェック講座を行った。しかし、住民主体で運営されているサロン活動が、新型コロナウイルス感染症の拡大により休止が相次いだため、指標にはとどかなかった。令和4年度は、活動を開始したサロンへの積極的な働きかけを通じて、フレイル予防の普及啓発を行う。	△	有
フレイル予防サポーターの育成・支援	フレイル予防サポーターの活動回数(啓発活動や研修を含む)	61 回	70	57	85	100	令和3年度は、サポーター養成講座を開催し新たに22名のサポーターと、トレーナー候補者3名が誕生した。令和4年度においてもサポーター同士が協力しながら、継続的に活動できるよう支援を行う。	○	有
住民主体のフレイル予防活動への支援	フレイル予防・健康づくり出前講座の実施回数	105 回	125	40	150	210	地域のサロン等からの申込みにより出前講座を実施。コロナ禍によるサロン休止中の団体へも紙面の配布や動画を配信するなど、多様な方法を通じてフレイル予防を行った。令和4年度においては、フレイル予防ポイントの付与団体に対しても、フレイルチェック講座の実施について、積極的に働きかける。	×	有

【主な取り組み】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

事業名	指標						令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
各種データ分析・地区診断	各種データ分析・地区診断の実施	— —	実施	実施	実施	実施	KDBデータ等を活用し、高齢者の医療・介護・健診情報から地域の健康課題の分析を行った。顕著な地域差は見られなかったが、地域資源等も併せて地区診断を行い、フレイルの状態に合わせて予防に取り組むモデル地域を選定した。令和4年度は、高齢者のフレイル予防活動状況分析と合わせ、効果的な取組みの検証を行う。	○	有
生活習慣病の予防及び重症化予防	特定健康診査受診率の向上	42.3 %	47.0	令和4年11月に確定	47.5	48.0	指標の数値は、第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）中間評価を令和2年度に行い、令和元年度の特定健康診査の受診率の実績に合わせ上方修正をしている。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、安全安心に受診できる環境を整えるため、集団健康診査の人数を制限したこと、個別の特定健康診査を委託している医療機関においては、令和3年から新型コロナウイルスのワクチン接種が開始され、更なる特定健康診査の予約数に人数制限があったことが推測される。令和3年度の実績数は令和4年11月に確定する。	○	有
医療専門職によるフレイル予防のための相談、支援	医療専門職によるフレイル予防のための相談、支援の実施	— —	実施	実施	実施	実施	フレイルチェック講座及び後期高齢者の健康診査等による質問票により、フレイル傾向の見られるハイリスク者を抽出し、医療専門職による専門的支援を実施した。また、国保加入者対象に実施していた糖尿病性腎症重症化予防プログラムも高齢者にも対象を広げ実施。次年度は、モデル地域における通いの場やサロンへのフレイル予防講座を行い、支援が必要な方への専門職支援につなげる。	○	有

【政策目標】 健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる

【重点施策】 多様な社会参加の促進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
多様な社会参加の促進	【アウトカム】友人・知人と会う頻度が高い（月に1回以上の）人の割合	69 %	—	—	70	—

【主な取り組み】 高齢者就労・社会参加の拡充

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
生涯現役促進協議会の運営	生涯現役促進協議会による求人開拓件数	260 件	200	141	200	200	コロナ禍で営業活動が制限されたこと、また事業者の求人自体が減少したことにより、件数が若干伸び悩んだ。引続き、多様な求人票の獲得に努めていく。 セミナーについては、参加者の要望・希望に添えることができるよう、反省・振り返りなどを行い、次回セミナーへ反映させた。次年度は実施時期の見直しも含めて、参加者の期待に応えるセミナー開催を目指す。また、セミナー終了後の参加者へのフォローアップも継続し、高い満足度が得られるよう内容の充実を図る。	○	有
	生涯現役促進協議会実施事業(セミナー、窓口)利用者満足度	90 %	90	92.6	90	90			

【主な取り組み】 地域でのボランティア活動の推進

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
地域でのボランティア活動の推進	月に1回以上ボランティアに参加する割合	13 %	—	—	14	—	2年に一度の更新確認を行った結果減少したものの、コロナ禍でありながら入門講座等を通じて新規登録者は67名。令和4年度は窓口相談、入門講座をはじめ、地域活動ガイダンス、生涯現役窓口やシルバー人材センターとの連携、多様なチャンネルにより個人登録ボランティアの増を目指す。	△	
	ボランティアセンターへのボランティアの登録者数	3,842 人	3,950	3,255	3,990	4,030			
地域いきいきセンター運営・整備事業	地域いきいきセンターの設置か所数	7 か所	8	8	9	10	令和3年度4月、市内8カ所目の新富地域いきいきセンターを開所した。また令和4年度以降の新規開設に向けて、柏市関係課との打ち合わせを実施した。令和4年度は、年度内に開所予定の9ヶ所目のセンター開設の準備を進めるとともに、令和5年度新規開設に向けた調整を進める予定となっている。	○	

【主な取り組み】 多様な居場所の創出

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
通いの場等の運営支援	通いの場の数	26 か所	36	21	41	46	コロナ禍のため、一定期間休止したり感染防止対策を講じながら活動がなされた。このため、社会福祉協議会との連携により、各団体が活動状況に合わせて活用できるようフレイル予防に関する紙面や動画を作成し、希望団体に配布するなどの支援を行った。令和4年度においても、通いの場の充実に向け引き続き支援する。	△	有
老人福祉センターの管理運営	利用人数	109,000 人	109,000	58,393	109,000	100,000	新型コロナウイルスの影響が根深く、従来の利用状況を取り戻せていない。感染対策として一部利用方法に制限をかけながら開所を続けている。来年度も新型コロナウイルス対策を取りつつ、状況を見ながら必要に応じて緩和方針を検討し、利用者増加に繋げたい。	△	有
高齢者団体への支援	団体数	91 団体	90	74	90	90	高齢者のライフスタイルも個々に変化しているため、地域活動団体に所属して行動することが、現代の高齢者のあり方に則していないのかもしれない。柏市シニアクラブ連合会も努力していただいているが、なかなか増加には転じない。ただ、一部新たに地域老人クラブを作りたいという相談もあったので、少しずつでも柏市シニアクラブ連合会を支援していきたい。	△	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 地域での支えあい体制の推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
地域での支えあい体制の推進	【アウトカム】近所での助け合い、地域での見守りがあると感じる人の割合	69 %	—	—	75	—

【主な取り組み】 生活支援体制の充実

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
支えあい会議の効果的な実施	支えあい会議への参加者数(延べ件数)	760 人	600~1,000	267	600~1,000	600~1,000	コロナ禍のため、計画していた地域支えあい会議が中止となり、参加者数は指標を下回った。住民主体の会議であり、リモート方式による開催が難しい状況。令和4年度においても、感染対策を講じながら可能な範囲で開催する。	×	有
たすけあいサービス団体の支援	たすけあい活動団体数	67 か所	68	73	71	74	市民への働きかけにより、たすけあいサービス活動団体が増加し、指標を上回る団体が活動できた。次年度においても、担い手や利用者の確保、新型コロナウイルス感染症の予防対策等、引き続き支援する。	◎	有

【主な取り組み】 多様な居場所への参加促進

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
通いの場等の運営支援	通いの場の数(再掲)	26 か所	36	21	41	46	コロナ禍のため、一定期間休止したり感染防止対策を講じながら活動がなされた。このため、社会福祉協議会との連携により、各団体が活動状況に合わせて活用できるようフレイル予防に関する紙面や動画を作成し、希望団体に配布するなどの支援を行った。令和4年度においても、通いの場の充実に向け引き続き支援する。	△	有
フレイル予防ポイント制度を活用した地域の多様な関係者との連携	フレイル予防ポイント対象事業数の増加	120 か所	140	346	160	180	7月から開始した近隣センターでのカード発行に合わせ、館内に啓発ポスターを掲示するなど、近隣センター利用団体の登録に向けた取り組みを実施した。次年度は、啓発活動を継続しつつ団体に貸し出す端末の調達など、活動しやすい環境を整備していく。	◎	有

【主な取り組み】 見守り体制の充実

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
柏市防災福祉K-Netの支援体制の構築	K-Net名簿の提供率	93 %	93	93	94	95	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者名簿の管理(申請受理・死亡等の情報更新)。 市が取りまとめた避難行動要支援者名簿を町会等へ提供。 K-Net出前講座の要望があった団体に対して、概要説明や先進事例紹介などを行う。 新規避難行動要支援者の抽出・発送。 	○	有
	支援体制の構築	68 %	67	74	68	69			
見守りネットワーク事業	協定締結事業者数	17 事業者	21	20	22	23	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度、新規の協定締結事業者は2事業者。 コロナ禍による外出自粛や新しい生活習慣の浸透に伴い、宅配や配送等の自宅へ赴くシステムは充実してきている可能性が考えられる。現状について調査し、協定締結事業者の拡大に向けた周知の手段等について検討していく。 	○	有

【主な取り組み】 相談機関の整備

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
福祉総合相談窓口（断らない総合相談窓口）の設置	福祉総合相談窓口の実施	— —	実施	実施	実施	実施	令和3年1月より、ラコルタ柏1階に窓口を開設。令和3年度の総合相談における受付件数（困窮は除く）は1,711件であり、福祉以外の相談など複合化した相談が増加している。次年度以降も引続き属性にとられない相談受付を実施し、相談者の入口を強化するとともに、各相談支援機関の支援をコーディネートし、一体的な支援を実施していく。	○	
地域いきいきセンター運営・整備事業（再掲）	地域いきいきセンターの設置か所数（再掲）	7 か所	8	8	9	10	令和3年度4月、市内8カ所目の新富地域いきいきセンターを開所した。また令和4年度以降の新規開設に向けて、柏市関係課との打ち合わせを実施した。令和4年度は、年度内に開所予定の9ヶ所目のセンター開設の準備を進めるとともに、令和5年度新規開設に向けた調整を進める予定となっている。	○	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 多様な生活支援ニーズに対する支援

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
多様な生活支援ニーズに対する支援	【アウトカム】在宅での暮らしを支援する介護サービスが充実していると感じる人の割合	31 %	43	35 (令和2年度実績)	45	47

令和2年度柏市まちづくり推進のための調査より入力
(令和3年度は調査なし)

【主な取り組み】 多様な生活支援サービスの把握と情報の発信

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
サービス利用状況や事業者情報の把握と発信	サービス利用件数(延べ)	32,335 件	36,006	32,081	37,736	39,626	コロナ禍のため、サービスの利用控えが生じたため指標をやや下回った。令和4年度においても、必要なサービスが利用できるよう市民や地域包括支援センター、関係者に対する周知を図る。	○	有

【主な取り組み】 介護支援専門員による効果的なケアマネジメントへの支援

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
地区別研修会・介護予防ケアマネジメント研修会・主任介護支援専門員研修会の実施	地区別研修会の参加者アンケート「理解した」割合	— %	80	96	80	80	<ul style="list-style-type: none"> 市内12か所の地域包括支援センターが主催する地区別研修会は、各センター計29回(複数センター合同での回数含む)実施し、参加者アンケートで「理解した」割合は96%であった。 介護予防ケアマネジメント研修会を年1回実施。地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員計152人が参加した。本人が望む生活の実現に向けてICF(国際生活機能分類)の考え方を共有し、ケアマネジメントの質の向上を図った。 主任介護支援専門員研修会を年1回実施。地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員を対象に、対人援助者監督指導(スーパービジョン)の理解と技術向上を図った。 令和4年度も介護予防ケアマネジメント研修等を実施し、効果的なケアマネジメントへの支援を実施していく。 	◎	有
	介護予防ケアマネジメント研修会の実施	1 回	1	1	1	1			
	主任介護支援専門員研修会の実施	1 回	1	1	1	1			
柏市介護支援専門員協会への支援	自立支援及び重度化防止のための啓発	1 回	1	1	1	1	10月の柏市介護支援専門員協議会総務会において、柏市ケアマネジメントに関する基本方針を周知し、重度化防止に向けた考え方を共有した。同基本方針は、市ホームページやカンワニネットにも掲載している。令和4年度も引き続き、周知啓発を図っていく。	○	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 認知症施策の推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
認知症施策の推進	【アウトカム】認知症の相談先を知っている人の割合	47 %	—	—	50	—

【主な取り組み】 認知症の正しい知識と理解の普及・啓発

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	29,972 人	33,000	34,550	36,000	39,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月、9月の認知症サポーター養成講座はほぼ中止し、10月以降に変更した。令和4年度も地域包括支援センターと連携し、認知症サポーターを増やし認知症の理解促進を図る。	◎	有
かしわ認知症対応ガイドブックの活用による普及啓発	かしわ認知症対応ガイドブック配布数(累計)	15,026 部	17,500	18,514	20,000	22,500	市内12か所の地域包括支援センター、1か所の相談窓口、ラコルタ柏1階に配架、認知症の相談時や認知症サポーター養成講座の参加者に配布。また、ラコルタ柏フェスティバルの地域包括支援課ブースにも配架し、認知症の普及啓発を行った。令和4年度においても、様々な機会を捉えて、多くの市民に配布することで認知症の理解促進を図る。	◎	有

【主な取り組み】 予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにする）

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
生活習慣病の予防や社会参加の促進に関する取り組み	通いの場の数(再掲)	26 か所	36	36	41	46	コロナ禍での工夫した居場所や交流方法を提案すると共に、新たな活動の機運に対し必要な支援を行った。今後は、フレイル予防ポイント制度の推進により、高齢者が主体的・継続的に参加できる多様な居場所づくりを進めていく。	○	有

【主な取り組み】 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
認知症初期集中支援チームによる支援	認知症初期集中支援チーム数	1 か所	1	1	1	1	認知症初期集中支援チームを認知症疾患医療センターに委託することで、双方の部門が一体的に対応でき、医療につながっていない事案に対し、迅速に鑑別診断が行える体制となっている。チーム員会議において、支援方針に対し医師から助言をもらい、地域包括支援センターとチーム員が役割分担を行い、連携をとりながら支援にあたっている。11月には、認知症サポート医と初期集中支援チームとの意見交換会を実施した。令和4年度も認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等関係機関と連携をとり、速やかに適切な医療が受けられる初期の対応を目指す。	○	有
認知症カフェの開催・支援	認知症カフェ参加者満足度	78 %	78	82.8	78	78	地域包括支援センターにおいて、認知症当事者及びその家族が心地よく過ごせる居場所づくりや他者との交流を目的としたカフェを年33回開催できた。参加者の満足度も指標を上回った。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら取り組んでいく。	◎	有
認知症相談支援体制の充実	認知症相談件数(延べ)	1,199 件	1,230	1,205	1,260	1,290	全地域包括支援センターに認知症の人やその周囲の人の相談窓口として、認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する相談を広く受け付けられる体制をとっている。また、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等が連携することで、認知症の早期発見に努めるなど効果的な支援を行った。令和4年度も、引き続き取り組んでいく。	○	有

【主な取り組み】 認知症バリアフリーの推進

事業名	項目	基準値	指標				対し	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
かしわオレンジSOSネットワーク事業	かしわオレンジSOSネットワーク協力事業所数（累計）	70 事業所	90	124	100	110	認知症サポーター養成講座の周知とあわせて、各地域包括支援センターより市内事業所に対し、積極的に働きかけた。その結果、指標を上回る事業所に協力が依頼できた。令和4年度も引き続き取り組むことで、協力事業者の増加に努める。	◎	

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 介護サービス等の基盤整備

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
介護サービス等の基盤整備	【アウトカム】家族が就労を続けられる割合	85 %	—	—	87	—

【主な取り組み】 介護サービスの整備

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
施設・居住系介護サービスの公募による整備	介護老人福祉施設の総定員数（施設数）	1,515 (24) 総定員数（か所）	1,628 (25)	1,528 (24)	1,628 (25)	1,828 (27)	介護老人福祉施設及び特定施設入居者生活介護については、整備に要する期間を考慮し、公募により令和3年度に運営事業者を選定した。また、認知症対応型共同生活介護については、令和4年4月から公募を開始する予定である。 令和3年度中に整備予定の介護老人福祉施設については、運営事業者の既存施設での新型コロナウイルス感染症の対応等により、整備に遅延が生じ、令和4年10月までに整備予定である。	○	有
	介護老人保健施設の総定員数（施設数）	920 (9) 総定員数（か所）	920 (9)	920 (9)	920 (9)	920 (9)			
	介護医療院の総定員数（施設数）	19 (1) 総定員数（か所）	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)			
	特定施設入居者生活介護の総定員数（施設数）	1,000 (10) 総定員数（か所）	1,000 (10)	1,000 (10)	1,000 (10)	1,100 (11)			
	認知症対応型共同生活介護の総定員数（事業所数）	423 (27) 総定員数（か所）	459 (29)	459 (29)	459 (29)	495～513 (31)			
在宅での暮らしを支えるサービスの整備	小規模多機能型居宅介護の事業所数	9 か所	9	9	9	10	令和5年度の対象事業所の開所に向け、令和4年度及び令和5年度の公募スケジュール等を検討している。	△	
	看護小規模多機能型居宅介護の事業所数	1 か所	1	1	1	3			
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数	4 か所	6	4	6	8			
在宅福祉サービスの実施	事業の周知	3 回	5	3	6	7	出前講座等で事業の周知を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数が低かった。登録者数では、緊急通システムの登録者数が増加した。	△	有
	登録者数	2,008 人	2,030	2,057	2,060	2,090			

【主な取り組み】 介護人材の確保

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
介護人材確保対策事業	「柏の〇（わ）」の実施回数	実施 回	実施	未実施	実施	実施	「柏の〇（わ）」については、令和4年2月の開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。令和4年度は、夏または秋頃の開催に向け、4月から準備を進める予定である。「介護のしごと相談会」については、令和3年10月に実施し、指標を上回る来場者数であった。令和4年度は、10月の開催に向け準備を進めるとともに、引き続き、効果的な周知方法を検討していく。	○	有
	「介護のしごと相談会」の来場者数	58 人	60	106	70	80			
介護資格取得の受講費用に対する補助	介護職員初任者研修の補助金交付者数	14 人	20	24	20	20	令和3年度の介護職員初任者研修及び介護職員実務者研修の補助金交付者数は、指標を上回る結果となった。令和4年度は、介護サービス事業者からの要望を踏まえ、介護職員実務者研修の補助金を拡充する予定である。	◎	
	介護職員実務者研修の補助金交付者数	25 人	25	36	30	35			
人手不足でもサービスの質の維持・向上を実現するための介護事業者への支援	補助金等による事業者への支援	— —	実施	実施	実施	実施	介護サービス事業者からの要望を踏まえ、コロナ禍で負担となっている人材確保に要する経費への支援を行った。また、介護サービス事業所の職員が陽性者や濃厚接触者になった場合等に利用者に継続して介護サービスを提供できるよう協力金の支援を行った。	○	
文書負担削減の取り組み	文書負担削減の取り組み	— —	—	—	—	実施	厚労省からの通知及び介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会の資料等を踏まえながら、令和5年度までに文書削減の取り組みを実施する。	—	
介護関係団体への支援	介護関係団体への支援	— —	実施	実施	実施	実施	柏市介護サービス事業者協議会が中心となり、通所サービス事業者連絡会の立ち上げを行い、令和3年9月に第1回目のオンライン会議（新型コロナ発生時における対応等）を開催した。また、昨年度に立ち上げた訪問介護事業者連絡会は、令和4年2月に会議を予定している。	○	

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 介護保険制度の持続可能性の確保

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
介護保険制度の持続可能性の確保	【アウトカム】要介護度の維持・改善率（80～84歳）	68 %	—	—	69	—

【主な取り組み】 介護保険事業の適正な運営

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定等	令和3年度の評価	コロナの影響	
			令和3年度		令和4年度	令和5年度				
			指標	実績	指標	指標				
柏市ケアマネジメントに関する基本方針	関係者への周知	—	—	実施	実施	実施	実施	基本方針をホームページに掲載（高齢者支援課）。柏市介護支援専門員協議会総務会にて、柏市ケアマネジメントに関する基本方針の周知を行った。引き続き同方針の共有を図っていく（地域包括支援課）。	○	
介護給付の適正化の推進	30日以内に要介護（要支援）認定をする割合	33 %	50	17	51	52	担当ケアマネによる委託認定調査の実施推奨、認定調査員の欠員補充、主治医意見書の早期入手のための催促・病院訪問、調査委託件数の増加依頼。	△	有	
	ケアプラン向上プロジェクト（ケアプラン点検）実施回数	27 回	24	24	24	24	新型コロナウイルス感染症対策をして面談方式で実施する。定期的実施出来た結果、前年度よりケアプランの向上につなげることができた。次年度は、抽出の内容や方法を検討し実施する。	○		
適正化システムを活用した給付分析	定期点検の実施回数	1 回	2	1	2	2	新型コロナウイルス感染症の影響による欠員により、業務量増加に伴い定期点検することが困難であった。次年度については、定期的な点検を実施し給付分析をする。	×	有	
介護サービス事業所への集団指導の実施	集団指導実施回数	1 回	1	0	1	1	新型コロナウイルス感染症の影響により、会場で開催する方式での集団指導を実施することができなかったが、制度改正や報酬改定の情報については、随時メールで事業所に周知を行った。次年度は動画等、オンラインを活用した集団指導を実施する。	×	有	
介護サービス事業所への個別指導（実地指導）の実施	介護サービス事業所実地指導割合（実地指導件数／事業所数）	26 %	17	6	17	17	新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言又はまん延防止措置期間中は実地指導の実施を延期したため、計画数より少ない実施件数となった。次年度も感染対策に留意しながら実施する。	×	有	
身体拘束の廃止研修の実施	身体的拘束等に係る研修実施回数	1 回	1	0	1	1	新型コロナウイルス感染症の影響により、介護事業所の職員を集めて実施することが困難であったため、千葉県で貸し出しを行っている身体拘束廃止に係る研修DVDを周知し、介護事業所に研修の実施を促した。	×	有	
制度の適切な利用等についての周知啓発	介護保険かんたん手引きの配布数	23,000 部数	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	各種冊子を作成し、周知啓発を実施。また、第8期プランの出前講座として、概要や第7期プランとの変更点について地域包括支援センターや薬剤師研修会にて説明を行った。	○	

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 在宅医療・介護の連携の推進

重点施策名	指標					
	項目	基準値	令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
在宅医療・介護の連携の推進	【アウトカム】在宅医療を受けている人の生活満足度	63 %	—	—	—	増加

【主な取り組み】 在宅医療・介護多職種連携の向上

事業名	指標						令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
顔の見える関係会議	会議参加により連携しやすくなると思った医療介護職の割合	70 %	70	0	75	80	新型コロナウイルス感染症流行禍で開催を見合わせていたが、令和3年度、オンラインを活用して再開した。実施直後と、3か月後にアンケートを行い、オンラインでも多職種連携に繋がることがわかったため、令和4年度はオンラインを活用した会議の実施を本格化する予定。	○	有
在宅医療推進のための多職種連携研修会	市内の在宅療養支援診療所数	35 か所	35	31 R4.2.1時点	35	37	令和3年度は新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、実施していない。令和4年度は感染状況を見ながら実施に向けて検討予定。	—	有
	他職種とのコミュニケーションが重要だと理解した者	— %	増	—	増	増			
情報共有システム運用・管理	新規に開設した部屋数	89 件	93	49	98	103	情報共有システムの活用を促進するために、利用者部屋への参加ルール緩和や新型コロナウイルス感染症流行禍におけるWeb会議連携機能等の運用を実施。次年度は、引き続き、今年度の取組における評価や部屋開設等推進のアプローチを行う予定。	○	有

【主な取り組み】 在宅医療提供体制の整備

事業名	指標						令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
訪問看護ステーション基盤強化	訪問看護ステーションに勤務する看護師の常勤換算数	6 人	5.5	5.87	5.5	5.5	千葉県の制度を活用し、基盤強化を図れた事業所の支援を実施。令和3年度は、3事業所が対象。令和4年度は7事業所が手を挙げており、引き続き要件に合う事業所への基盤強化の支援を行う。	○	
病院と在宅との連携強化研修会	研修会参加後に「在宅医療へのイメージや考え方に変化があった」と回答した病院職員の割合	70 %	70	—	70	70	市内病院地域連携担当者連絡会議（MSW会議）をオンラインにて実施。病院と在宅の双方にて、新型コロナウイルス感染症流行禍前後での多職種連携について比較し、困ったこと等を共有することにより、切れ目のない支援を行うための解決策の提案を行った。研修会は、新型コロナウイルス感染症流行禍で令和3年度の実施は困難であったが、令和4年度は感染状況や病院の状況を見ながら実施に向けて検討していく予定。	△	有
看取り体制構築に対する支援	看取りを行う施設数	17 件	増加	変化なし	増加	増加	看取り体制構築に向けた取組を実施。 ○令和2年度から3ヵ年で高齢者施設での看取り体制をヒアリング調査にて実施 令和2年度：特別養護老人ホーム 令和3年度：特定施設入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護 令和4年度：サービス付き高齢者向け住宅を対象に調査予定 ○施設看護師ネットワークづくり 令和2年度調査の際に、施設看護師間の連携を求める声が多くあり、令和3年度の施設看護師のネットワーク構築に向けて、研修会を実施。令和4年度も引き続き実施予定。	○	有

【主な取り組み】 地域住民への普及啓発

事業名	指標						令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
在宅医療啓発事業	通院が困難になった場合に、在宅医療を利用できると知っている市民の割合	70 %	71	66.8	73	75	無関心層の中のターゲット層（働き盛り・子育て世代）への啓発を新たな取り組みとして企画し、令和4年度実施予定である。既存の在宅医療情報紙「わがや」第18号（9月発行）・第19号（3月発行）も上記ターゲット層に向けて啓発内容を工夫するなどの取組みを実施。新型コロナウイルス感染症流行禍でも啓発活動が行えるようオンラインの活用も周知していく。	△	有

【主な取り組み】 地域医療拠点（柏地域医療連携センター）の運営

事業名	指標						令和3年度の取組状況, 令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
在宅医療相談	相談を解決した割合	98 %	100	100	100	100	相談内容を丁寧にききとり、必要な連携調整を行っている。月1回、在宅医師による医療相談レビューを行い、センター相談員のスキル向上に努めている。	○	有

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 地域包括支援センターの機能強化

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
地域包括支援センターの機能強化	【アウトカム】地域包括支援センターの相談や問い合わせへの対応満足度	77 %	78	集計中	79	80

5月下旬にまとめ、7/14開催予定の運営協議会の承認を経て決定する予定

【主な取り組み】 総合相談支援機能の充実

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
介護予防・生活支援サービス事業（介護予防ケアマネジメント）	要支援者等のケアプランへ多様な社会資源の活用を位置づけている割合	21 %	24	27.6	27	30	地域包括支援センター主任介護支援専門員との連携会議を年6回、介護予防個別会議を12か所のセンターが計48回開催し、センターや地域の介護支援専門員にインフォーマルサービスの活用を働きかけてきた。このほか、センターが地域の居宅介護支援事業所に向け研修や事例検討会を開催し、多様な社会資源の紹介やケアプランチェックリストの活用を促すことで、適切なサービス提供による自立支援・重度化防止を目指した介護予防ケアマネジメントに取り組んだ。引き続き令和4年度も、地域包括支援センター主任介護支援専門員との連携会議や介護予防個別会議を実施し、センターや地域の介護支援専門員にインフォーマルサービスの活用を働きかけていく。	○	有
総合相談支援業務	相談件数	17,614 件	18,000	14,655	18,500	19,000	コロナ禍により、地域住民の外出の機会の減少の影響等もあり、相談件数の実績は指標を下回った。今後も、リーフレットやホームページを活用するとともに、民生委員等、地域関係団体との連携を図り、引き続き地域包括支援センターの周知に努める。	○	有

【主な取り組み】 地域包括支援センターの活動評価

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
地域包括支援センター事業評価の実施	事業評価の実施	実施 -	実施	実施	実施	実施	地域包括支援センターによる自己評価や行政評価、利用者や関係機関へのアンケートによる評価を実施したところ、全国平均を上回る結果であった。令和4年度も評価を行い、PDCAを通じた機能強化を図る。	◎	

【主な取り組み】 地域包括支援センターの適正配置

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センター常勤職員数	71 人	73	71	75	77	国が定める職員配置基準の目安を用いて地域包括支援センターの適正配置方針を決定したが、令和4年度に向けた定数調整となり、令和3年度は基準値どおり71人の実績となった。令和4年度は、指標を達成する見込みとなっている。	○	

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 権利擁護の充実

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
権利擁護の充実	【アウトカム】身近な相談相手や相談場所がある人の割合	94.3 %	—	—	95	—

【主な取り組み】 高齢者虐待防止の相談支援

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
(仮称) 柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会運営会議の開催	(仮称) 柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会の構成団体等	機関・団体 39	39	39	39	39	障害者、高齢者等の既存会議を統合し、新たに全体会として柏市権利擁護ネットワーク会議を設置し、その下部組織として高齢者部会を設置した。令和3年度の開催時には、地域包括支援センターや介護サービス事業所に加え、医師会や警察等、幅広い分野の委員の出席によりネットワークの構築に向けた意見交換を行った。令和4年度においても、引き続き実施する。	○	
地域包括支援センターでの相談・対応	高齢者虐待対応の最終割合	50 %	50	93	55	55	虐待の通報を受けた後、市と地域包括支援センターにおいて迅速にコア会議を開催し、支援方針や役割分担等、効率的かつ効果的な支援を目指した結果、指標を上回る最終割合となった。認知症高齢者等の増加に伴い、虐待事例も増加することが見込まれる。令和4年度においても、地域包括支援センターとの連携により、適切な支援を行う。	◎	有
高齢者緊急一時保護事業	高齢者緊急一時保護件数	17 件	10	16	10	10	認知症等、やむを得ない事由がある事案に対し、緊急一時保護を行った。保護解除後の生活の場の確保等にも留意し地域包括支援センターや介護サービス事業所等との連携により、令和4年度においても適切な取組みを継続する。	◎	有

【主な取り組み】 成年後見制度の普及啓発

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
成年後見制度に関する相談	成年後見に関する相談件数	249 件	270	489	280	290	地域における一次相談機関である地域包括支援センターと困難事例の相談機能を持つ中核機関（社会福祉協議会内）が連携し、利用者に対し制度説明や申し立て事務に対する積極的な支援を行った。令和4年度においても、引き続き相談支援に取り組む。	○	
市民後見人の育成、活動支援	市民後見人の受任件数	7 件	8	12	9	10	平成29年度から令和3年度末までに、9名の市民後見人が裁判所から選任されており、その間延べ12件の後見業務を受任している。令和4年度も身上監護等が安定している事案について後見人候補者として市長申立て事務が適切に実施できるよう、社会福祉協議会と連携し育成支援する。	○	
成年後見制度利用促進のための中核機関の設置	後見人等候補者調整会議の取扱件数（高齢者）	27 件	25	13	30	30	柏市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、令和3年6月に成年後見制度に係る中核機関を設置。成年後見制度利用促進機能として、弁護士・司法書士・社会福祉士等を交え、後見人等の候補職種の選定を行った。令和4年度においても、引き続き実施する。	○	

【主な取り組み】 振り込め詐欺や消費者トラブルの未然防止

事業名	指標						令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
	項目	基準値	令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
振り込め詐欺や消費者トラブルの未然防止	防犯講習会実施回数	44 回	50	8	50	50	新型コロナウイルスの影響により、実施回数は大幅に減少している。今年度も、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら町会等への積極的な実施呼びかけ、オンライン対応等、臨機応変に対応できるよう努めたい。	△	有
	60歳以上の高齢者からの消費生活相談件数	1,450 件	1,450	1,379	1,450	1,450	令和3年度の60歳以上の高齢者からの相談件数は1,379件で、前年度（1,468件）に比べ89件、6.1%の減少であったが、総相談件数の4割を占めている。引き続き消費生活相談業務の中で、消費者トラブルの解決、未然防止のための助言を行うとともに、消費者トラブルを未然に防止するため、地域の多様な高齢者見守りネットワーク団体（消費生活コーディネーター及び地域包括支援センター、民生児童委員、ふるさと協議会等）への情報提供等、連携を継続しながら、啓発強化を図っていく。	○	有

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 多様な主体との地域づくりの推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度		令和4年度	令和5年度
			指標	実績	指標	指標
多様な主体との地域づくりの推進	【アウトカム】住んでいる地域に愛着があると答えた人の割合（再掲）	79 %	—	—	80	—

【主な取り組み】 超高齢社会のまちづくりモデル

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
産官学で取り組む先進的なまちづくり							○	有	

【主な取り組み】 関係団体等との連携体制の整備

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
生活支援体制を整備するための、多様な組織との連携	支えあい会議の開催数	34 回	20～40	21	20～40	20～40	○	有	
地域共生社会の実現	地域いきいきセンターの設置か所数（再掲）	6 か所	8	8	9	10	○		

【主な取り組み】 都市・交通政策部門との連携

事業名	項目	基準値	指標				令和3年度の取組状況、令和4年度の取組予定 等	令和3年度の評価	コロナの影響
			令和3年度		令和4年度	令和5年度			
			指標	実績	指標	指標			
住まいの確保や住まいの選択を支援する体制整備	高齢者人口に対する高齢者向け住宅等の供給割合	3 %	3	3.5	3	3	○		
高齢者の外出や社会参加を促進するためのまちづくり	ノンステップバスの導入率	87 %	90	88	90	90	○		